

特集

いばらきの海

輝きを取り戻す夏。

太平洋に面した、美しく変化に富んだ海岸線を持つ茨城。
夏、ここには多くの海水浴客やサーフィンを楽しむ人たちが訪れます。
しかし、昨年の震災以降、沈みがちだった海の輝きと賑わい。
そんな状況から立ち上がろうと、
茨城の海を愛するサーファーたちが行動を起こしています。
New Future! 新しい未来へ向けて。
いま、茨城の海は美しい輝きを取り戻しています。



フォトイばらき

PHOTO IBARAKI 2012 No.588 夏季号

表紙:日立市河原子海岸
表紙撮影:前川健彦

「きれいな海と太平洋が生み出すパワフルな波、そして変化に富んだサーフポイントが多い」

サーフィンを楽しむ人たちに人気が高い茨城の海について、多くのサーファーたちはこう語ってくれます。

しかし東日本大震災以降、海水浴客はもちろん、サーフィンを楽しむ人たちの姿は減少してしまいました。

しかし、県内のサーフショップなどで構成された団体「茨城サーフィンユニオン（I.S.U）」は、震災直後から行動を起こしています。海の復興と被災地救援チャリティー、海の安全性の告知など、サーファーたちによる地道な取り組みが行われています。そして7月7・8日には復興活動の節目として「元氣いばらぎ！ 夏のグルメ屋台村&サーフィンフェスティバルin大洗」が開催されます。この大会は県と大洗町の主催で、茨城の海に震災前の輝きを取り戻したい、という願いの込められたイベントなのです。

夏を迎え、茨城の海にも少しずつ輝きが戻りつつあります。海を愛する者たちの活動の輪は、震災を乗り越え、よりいっそう広がっています。

復興を念頭とした大会を開催



茨城サーフィンユニオン(I.S.U)会長
相沢猛志さん

茨城サーフィンユニオンは、茨城県のサーフシーンの活性化を目指し、茨城の海・サーファーをバックアップ、サポートする非営利団体です。大会イベントの運営も行っていますが、今年は復興の願いを込めて7月7・8日大洗町での「復興祈念特別大会」と、7月20～22日の日立市でのサーキット第3戦を「東日本大震災復興イベント」として開催します。今後も、サーフィンを通じて茨城の海の良い環境を守り、多くの人たちが海に親しんでもらえる環境整備を行っていきたいと考えています。



茨城サーフィンユニオン

絶好の波が打ち寄せる河原子海岸



いま輝く海へ、波を求め。

Photo:Takehiko Maekawa

筑波山の四季・夏

衣手常陸の国 二並ぶ 筑波の山を

見まく欲り 君来ませりと

暑けくに汗かきなげ 木の根取り 嘯き登り

峯の上を 君に見すれば 男神も許したまひ

女神も 霊はひたまひて(下略)

万葉集



水戸市 吉田止水城さん
平磯温泉「朝の光」。

石岡市 塚田貴子さん
大洗の海です。空と海が気持ちよさそうな色をしていました。



埼玉県 青木健一さん
以前に、十王町鶴の岬で撮影したものです。ススキが秋の光を浴びて美しく輝いています。



水戸市 三富勝夫さん
神栖市南浜「鹿島灘のパワー」。



水戸市 橋アキコさん
平磯の大ちゃんです。もうすぐ大ちゃん子どもたちが泳ぐ季節になりますね。

東京都 内山とくほさん
大洗海岸、凧の海で釣りをする人。穏やかな風景。

フォトギャラリー

今回のテーマ いばらきの海

「フォトいばらき」では、読者の皆さんが撮影した、美しく楽しくて多くの人に見てほしい、そんないばらきの魅力を伝える写真を募集しています。さらにインターネット上のfacebook「いばらきの魅力を伝えたい」とリンクしながら、読者の皆さんの写真を紹介していきます。



フォトいばらき
[magazine]

茨城の魅力を伝えたい
[facebook]

ここに掲載された写真は、マガジンハウス発行のウェブマガジン「コロカル=colocal」でも紹介しています。
<http://colocal.jp/>



水戸市 埴 浩志さん
昼食時にアウトレットから海を望んだ写真です。月曜日だけの特別な風景。食事景色も満足させてくれる大洗の海です。



水戸市 森浩一郎さん
水戸徳川6代藩主、治保公(はるもりこう)が作られた比観亭から見た阿字ヶ浦の風景です。



ひたちなか市 花田誠治さん
ひたちなか市(旧那珂湊)と大洗町をつなぐ海門橋を撮影しました。海が美しく、この場所になると心が和みます。

次回のテーマ 私の自慢したい茨城のスポット

フォトギャラリー応募方法

●facebookで送る

facebook「茨城の魅力を伝えたい」へ送信▶<http://www.facebook.com/ibaraki.pr>
インターネット上のfacebook「茨城の魅力を伝えたい」に写真を添付してメッセージとともに送ってください。

●フォトいばらき編集室へメールで送る

フォトいばらき編集室▶ibaraki@7oaks.co.jp
写真を添付してメッセージとともに送ってください。

●フォトいばらき編集室へプリント写真もしくはデータCDを郵送で送る

以下の宛先までお送りください。
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 茨城県広報広聴課「いばらきの魅力を伝えたいフォトコンテスト」係

●締め切りは9月5日、到着分まで

いずれの場合も、氏名・住所・電話番号・写真の簡単なコメント(50字以内)を記載してお送りください。写真データとして送る場合は、データサイズは1MB(1000KB)以内とし、画像フォーマットはJPEG等画像ファイルにしてください。
誌面では写真とコメント、お名前、お住まいの市町村名を掲載させていただきます。写真が掲載された方には、マガジンハウスの「オリジナル・エコバッグ」をプレゼント。皆さんからの、いばらきの魅力を伝える写真をお待ちしています。

いばらきの歴史再発見

貝塚・古墳

Photo:Takehiko Maekawa

古くから海と山の恵み豊かな土地だった茨城には、縄文時代の貝塚や古墳時代を代表する史跡が存在しています。今回は女性特派員の塚田貴子さんが、東日本を代表する貝塚と古墳を訪れ、古代の人々が残した遺跡から当時の文化や生活の営みを再発見します。



いばらき女性特派員 塚田貴子さん



貝層断面に特殊な薬剤をつけてはぎ取ったものを立体的に展示しており、貝塚の特徴を興味深く観察できる

上高津貝塚

かみたかつかいつか / 縄文時代後期・晩期(約4000~3000年前)



「上高津貝塚ふるさと歴史の広場」には竪穴住居や掘立柱建物が復元され、史跡公園として整備されている
【問】上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館) 土浦市上高津1843 ☎029-826-7111

関東有数の大規模貝塚
霞ヶ浦にほど近い台地上にある「上高津貝塚ふるさと歴史の広場」として整備された国指定史跡の上高津貝塚は、縄文時代後期・晩期につくられた大規模貝塚。ここでは、貝が地層のように堆積した様子が一目で分かる貝層断面展示施設や、復元された竪穴住居などを見ることができ、縄文人の生活ぶりをうかがうことができます。
出土した土器などのジオラマ展示もされている考古資料館と併せて見学すれば、縄文人の生活の様子をより深く体感することができます。



大串貝塚

おおくしかいつか / 縄文時代前期(約5000年以上前)



文献に残る最古の貝塚
奈良時代に書かれた「常陸国風土記」にその記述があり、文献に残された貝塚としては最古のものとして知られているのが大串貝塚です。「常陸国風土記」によれば、この貝塚は巨人が作ったとされ、この巨人をイメージしたダイジャラボウ像が市内を見下ろしています。
大串貝塚周辺は「水戸市大串貝塚ふれあい公園」となっており、公園内には埋蔵文化財センターがあり、出土品や縄文時代の資料を見学することもできます。



「水戸市大串貝塚ふれあい公園」内には、高さ15.25mのダイジャラボウ像や縄文時代の復元住居などがある。なお、貝層断面観察施設を見るためには申し込みが必要となっている
【問】水戸市教育委員会文化課埋蔵文化財センター 水戸市塩崎町1064-1 ☎029-269-5090

東日本屈指の彩色壁画

虎塚古墳は、全長56・5メートルの前方後円墳です。後円部の横穴式石室からは東日本では珍しい彩色壁画が発見され、多くの幾何学文と武具や装身具などの絵画が、除魔の意味を持つ赤い顔料で描かれています。この壁画は年2回の一般公開時に見ることが出来ます。

隣接する埋蔵文化財調査センターでは、出土品や石室のレプリカを見ることが出来ます。静かな森の中にある古墳と、展示された出土品を見ると、その時代への興味がいつそう高まります。

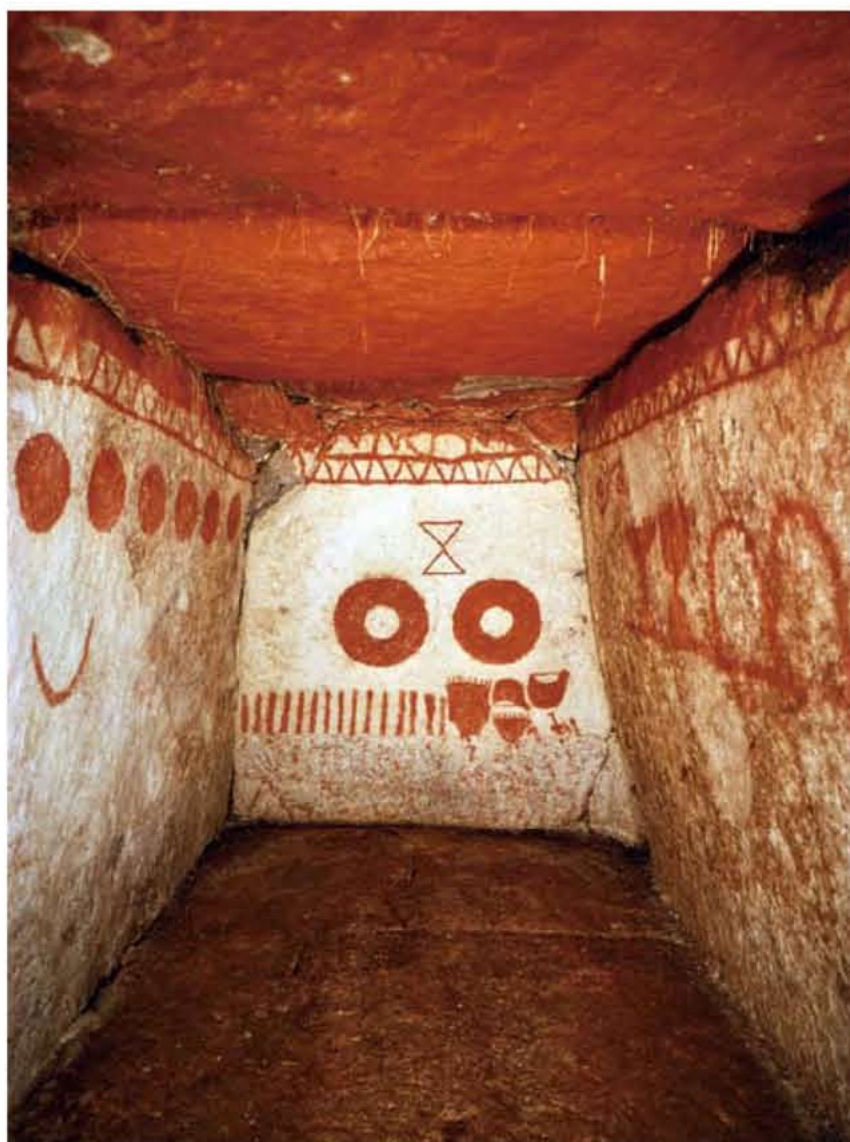
虎塚古墳

とらづかこふん / 7世紀前半(約1350~1400年前)



周囲を歩けば前方後円墳の形を感じることが出来る。埋蔵文化調査センターでは壁画レプリカや出土品を見学することが可能
【問】ひたちなか市埋蔵文化財調査センター ひたちなか市中根3499 ☎029-276-8311

大きなゆえにその全容は地上からは分かりづらいが、上空からは前方後円墳であることがよく分かる
【問】石岡市生涯学習課 ☎0299-43-1111 石岡市北根本



春と秋の年2回一般公開される古墳内部の彩色壁画

写真提供:ひたちなか市教育委員会

写真提供:石岡市教育委員会



舟塚山古墳

ふなづかやまこふん / 5世紀中頃(約1500~1600年前)

東日本第2位の大きさを誇る

全長186メートルと茨城県最大、東日本でも第2位の大きさを誇る舟塚山古墳は、現在の霞ヶ浦北岸地域を治めた大豪族のお墓と考えられています。畑の中に出現する前方後円墳の舟塚山古墳は、その大きさゆえに全容をすぐに想像することはできません。しかし古墳に登り立つと、その大きさから当時の豪族の力の大きさを知ることができます。近くには多くの古墳があり、豊かな土地ゆえに古くから栄えた歴史を感じさせてくれます。



畑の中にある全長186mの古墳は、3段に土が盛りられ、周囲には溝が巡らされている

わが街自慢

那珂湊 焼きそば

ひたちなか市

喰い道楽 すみよし
営業時間11:00~20:00 (不定休)
ひたちなか市湊中央町1-5-12
TEL.029-262-3551
ソース焼きそば 473円(中)。
578円(大)、683円(特大)



およそ50年前に、先代が手延べせいる蒸し麺を使い、鉄板で炒めソースで仕上げたのが「那珂湊焼きそば」の始まりです。手延べせいる蒸し麺に豚骨スープをかけて蒸し焼きにして仕上げる、入っているのは、もやし、キャベツ、紅ショウガのみ、これがおいしいんです。スープを吸ってももちもちした食感の太麺とソースが絡んで絶妙な味わいです。ひたちなか市にいらして、ぜひ「那珂湊焼きそば」を味わってみてください。(喰い道楽 すみよし 高安泰二さん)

JA水戸 じえらあと

城里町

JA水戸かつら農産加工所
営業時間9:00~16:30 (月曜定休)
茨城県郡城里町阿波山653-1
TEL.029-289-4547
JA水戸じえらあと 250円
(1色もり2色もりとも)



地元の城里町や茨城県産の素材にこだわって作られているのが「JA水戸じえらあと」です。バニラ、イチゴ、ごま、黒豆、チョコ、抹茶など、さまざまな味を楽しむことができます。今のイチゴは、これから旬となる果肉入りのメロンと、ミルクアイスの間にイチゴジャムとクラッカーが入ったミルフィーユですね。その他にも、ジャム、ソース、味噌など地元素材を生かした加工品も販売しているので、お立ち寄りください。(JA水戸 かつら農産加工所 三村麻衣子さん)

Photo: Takehiko Maekawa

フォトいはらき読者アンケート

フォトいはらき読者アンケートにご協力ください。
インターネット、携帯電話、PHSからもご利用可能です。

1.インターネット・携帯から

フォトいはらきのページにある「アンケート」の項目をクリックして、アンケートページへお進みください。

■インターネットホームページ

茨城県のホームページから、もしくは主要検索サイトから「フォトいはらき」で検索し、アンケートページへ。

フォトいはらき

■携帯電話用QRコード



2.ハガキで

以下の項目をご記入の上、質問に関する番号を明記してご応募ください。

■送り先

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 茨城県広報広聴課 「フォトいはらき」担当

■以下の項目を必ずご記入ください

※お名前(ふりがな) ※性別 ※年齢 ※郵便番号 ※ご住所 ※お電話番号

■本誌に対する以下の質問にお答えください

- ※質問1 あなたが面白いと感じた記事をお選びください(複数可)
- ①いはらきの制 譯きを取り戻す夏 ②筑波山の四季 ③読者のページ・フォトコンテスト
- ④いはらきの歴史再発見 ⑤わが街自慢
- ※質問2 今後取り上げてほしいテーマは?
- ※質問3 本誌に対するご意見・ご感想

フォトいはらきは年4回発行しています。
次号(秋季号)No.589は9月30日発行予定です。

フォトいはらきは、県内の公共施設、理美容店、銀行、病院などに置いてあります。

県の広報紙へ広告を掲載しませんか!

県では、県政情報紙「ひばり」、県民クラブ誌「フォトいはらき」への広告掲載を募集しています。詳しくは県広報広聴課 TEL.029-301-2128までお問い合わせください。